



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2026

1月30日号

210
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒963-0201 郡山市大槻町字原ノ町3-1 TEL/FAX 024(954)7595

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

昔の常識、今の非常識



副会長 久米本 祐樹

時の流れは本当に早いもので、特に私たちが身を置く医療の技術革新は、その速度はまるでジェット機に乗っているかのように感じます。ほんの数十年前まで「当たり前」だったことが、今では「ありえない」とされる。そんな時代の変化を、診療放射線技師という専門職の視点から、少し見つめ直してみたいと思います。

この分野に長く携わっていると、ふとした瞬間にかつての「常識」がまるで遠い過去の出来事のように感じられることがあります。そして、その「常識」が今の世代にとっては、すでに「非常識」と化していることに気づかされます。私たち放射線科には、必ず「暗室」があり、現像液と定着液のツンとした匂いが満ちていました。撮影が終わると暗室に駆け込み、フィルムを自動現像機へ投入し画像が浮かび上がるのを待ったものです。もしも画像の黒化度が適正でない場合、現像時間や条件を調整して、まさに「職人の勘」で最高の1枚を生み出す必要がありました。当時の「常識」は、「フィルムは財産であり、1枚たりとも無駄にできない」ということ。失敗すればやり直しがきかず、患者さんに、もう一度放射線を照射させていただくことになります。だからこそ、皆が緊張感を持って作業していました。しかし、デジタル画像処理が主流となった今、暗室は姿を消し撮影された画像は、瞬時にモニターに表示され、明るさやコントラストはボタン一つで最適化できます。昔、熟練の技師が時間をかけて調整していたことが、今やシステムが数秒でこなしてくれます。フィルム管理のために病院の一部屋が埋まることもなくなり、過去の画像データも一瞬で検索可能です。「現像液の匂いがしないこと」、「画像がすぐに共有できること」、これらは昔の私たちにとっては「ありえない非常識」でしたが、今や医療の現場では欠かせない「当たりの常識」です。この変化は単に技術的な進歩に留まりません。デジタル化のおかげで、私たちは被ばく線量をリアルタイムで確認し、患者さん一人ひとりに対して、より安全な検査を提供できるようになりました。時代の変化は止まりません。今の私たちの「常識」も、数年後には「非常識」になっているかもしれません。例えば、今は技師が撮影に立ち会って、最適な位置決めをしています。AI技術が進化すれば、患者さんが入室した瞬間に体形や病態を認識し、自動で最適な位置に装置が移動し撮影することが当たり前となるかもしれません。知識や技術は、常に更新されていきます。私たちが大切にすべきは、過去の経験を土台としつつも、新しい技術を恐れず、むしろ柔軟に取り入れる姿勢だと思います。診療放射線技師の役割は、単に装置を操作することから、技術と知識を駆使して「最高の医療情報」を提供することへと変化しています。常識は変わりますが、私たちが患者さんに寄り添い、少しでも不安を和らげ、正確な診断の手助けをしたいという根っこの思いは変わりません。

昔の常識を懐かしみつつも、新しい常識を学び続けることが、未来の医療現場で輝き続ける秘訣ではないかと思います。患者さんの安心と笑顔のために、私たち自身も変化を楽しみながら、未来へと歩みを進めていしましょう。

福島県立医科大学 保健科学部診療放射線科学科だより

福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科 久保 均、岩永 崇

会員の皆様、こんにちは。久保です。本号では、私ども福島県立医科大学保健科学部が毎年実施しております合同施設説明会についてご報告いたします。

保健科学部では、学生生活委員会の下部組織として進路支援部会を設置し、学生の進路に関する支援を行っております。進路支援部会は（１）学生の進路指導及び相談に関すること。（２）進路に関する資料の収集及び提供に関すること。（３）キャリア関連授業に関すること。（４）就職支援室の運営に関すること。（５）その他学生の進路に関し必要な事項に関すること。等を行うことが定められております。具体的な活動については、学部として共通で実施すること以外は各学科で独自に進めております。その学部で共通して実施していることに、進路に関する資料の収集及び提供があります。具体的には、本学部のホームページでお送りいただきました求人票を閲覧できるようにしたり、今回ご紹介する合同施設説明会を開催したり、があります。なお、先生方のご所属で本学に求人票をお送りいただける場合は、もちろん大変嬉しいですので次のサイトでご確認いただけますと幸いです。（就職情報掲載希望申込フォーム：<https://fmu-hs.jp/request.html>）

さて合同施設説明会ですが、これは毎年12月頃に実施している本学部が養成している4職種の就職に関する説明会です。福島県内の医療機関など本学部卒業生の就職先となるようなご施設の皆様にお集まりいただき、各ご施設の特色や採用実績・見通しなどを学生に直接ご説明いただくものです。会場の大きさなどの関係上、本学部よりお願いしているご施設にご参加いただいておりますが、令和7年度は24施設の皆様にご参加いただきました。本欄をお借りして、ご参加いただきましたご施設の皆様に感謝申し上げます。学生の主対象は3年生ですが、2年生や1年生でも希望者は参加可能としております。今年度は合計155名の学生が参加しました。合同説明会自体の開催時間は午後の2時間半ですが、午前中は就職活動に関するスタートアップ講座を受講していますので、学生にはなかなか忙しい日程ではありました。そのような中で、学生は積極的に各ご施設のブースを回り、色々と質問しながら各ご施設について説明をいただいていたようでした。私は残念ながら急用のために本年は参加できませんでしたので、昨年8月まで実際の臨床現場で勤務され9月より本学に着任されました岩永先生に、病院勤務における求人活動等のご経験もふまえ、今年度の合同施設説明会に参加した印象と感想などをいただきたいと思います。岩永先生、よろしくお願いいたします。

こんにちは、岩永です。このたびは、休日にもかかわらず合同施設説明会にご参加くださいました24施設の皆様に、まず心より御礼申し上げます。私自身、本学に着任後はじめて本説明会に参加いたしましたが、その規模の大きさや、各ご施設が本説明会にかける熱意に大変驚かされました。私がこれまで勤務してきた九州地区では、同様の形式の説明会を経験したことがなく、新鮮さを感じると同時に、「優秀な学生にぜひ来てほしい」という各施設の強い思いが、会場全体から伝わってきました。

対象となる3年生のみならず、2年生も多数参加しており、会場には大きな熱気がありました。学生の参加形態も、グループで回る学生、一人で積極的に回る学生とさまざまでしたが、いずれの学生に対しても、各ご施設が医療機器（モダリティ）や具体的な業務内容、さらには給与や福利厚生に至るまで、自作の資料を用いながら一人ひとりに丁寧に時間をかけて説明されている姿が非常に印象的でした。

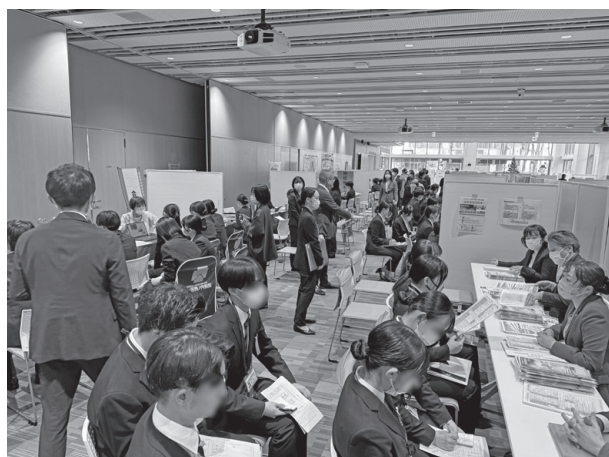
近年、医療業界においても就職活動の時期は他業種と同様に早期化しており、より優秀な人材を獲得するための競争が激しくなっていることを、現場感覚として強く実感いたしました。そのような中、本学の学生は勉学に対して真面目で、第一種放射線取扱主任者試験にも多くの学生が合格するなど、基礎学力・意欲の面でも高い水準を有しております。学生にとっても、施設の皆様から直接お話を伺い、現場の実情や求められる人物像を具体的にイメージできたことは、大きな学びになったものと思われます。

本説明会当日は、午前中に就職活動に関するスタートアップ講座を受講し、午後に各施設の説明を通じて病院就職のリアルを実感するという、1日を通した非常に密度の高いプログラムが組まれていました。学生にとっては、これから本格的に始まる就職活動の1年間を見据え、準備の必要性を強く意識する契機になったのではないかと感じております。

加えて、以前私が勤務していた病院でも、「いつ採用募集を出すより良い学生と出会えるか」は毎年のように議論となっておりました。採用広報の早期化が進む中で、情報発信のタイミングや手段が人材確保に直結しやすい印象です。本学科へ求人・採用情報を直接お寄せいただければ、学内で広く周知し、学生が適切に情報へアクセスできる環境づくりにも繋げることができます。募集時期にかかわらず、採用に関するご相談はいつでも承りますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

本学は福島県内出身の学生も多く、私ども教員としても、県内医療機関へ多くの人材を輩出できるよう日々取り組んでおります。引き続き、学生が現場を具体的に学べる機会や情報提供の面で、県内施設の皆様と連携を深めてまいりたいと存じます。

岩永先生、ありがとうございました。就職活動は学生にとってはとても重要で、学生の人生の方向性を決めるとも重要な要素でもあります。私どもは学生の希望や特性に基づいて適切な指導ができるよう、努力をして参ります。先生方に受け入れていただける診療放射線技師を輩出できるようにいたしますので、是非本学学生の求人についてご検討いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。





県会長 「オンレコ」

会長 鈴木 雅博

- ①11月1日（土）に令和7年度福島県原子力防災訓練／原子力災害医療活動訓練が富岡町総合スポーツセンターで行われました。行政機関や自衛隊など多くの団体が参加しての訓練となりました。参加された皆様お疲れさまでした。
- ②11月5日（水）に中間監査が行われました。資産管理・財務状況に関して収支適正化に向けて指摘を受けましたが、運営自体に問題はありませんでした。
- ③国民医療推進協議会では、医療を守る関係各位の総意をより力強く中央に伝えていくことが重要との主旨で、11月20日（木）に「国民の医療を守る総決起大会」が開催され、当会からも役員4名でサテライト会場（福島県医師会館）にて参加してきました。
- ④各地区技師会の新任会長並びに若手会員から直接、意見・質問を伺い、地区技師会とJARTの連携を深め、JART事業の更なる改善・充実を図ることを目的としたJART-Web懇談会が12月1日（月）に開催され、JART上田会長・江藤副会長、当会から若手会員を代表して斎藤将輝会員（福島県立医科大学附属病院）・朝倉柊会員（会津中央病院）の2名ならびに新任会長である私と遊佐副会長とで様々な意見交換を行いました。私自身も多角的な考え方を知ることができ大変有意義な時間を過ごすことができました。
- ⑤12月5日（金）に第3回福島県原子力防災通信連絡訓練が行われました。
- ⑥12月16日（火）に第4回執行部会ならびに第5回理事会が行われ、各地区・委員会より来年度予算を提出して頂きました。来年度の事業計画ならびに予算化を今後進めていきます。
- ⑦フレッシュャーズセミナーは人材育成委員会から入会促進委員会にプログラム作成が交代となります。2～3月頃に入会促進委員会より改めて次年度以降のフレッシュャーズセミナーのプログラム変更企画が提案予定となっています。
- ⑧「Piranha Premium」が、故障中のため現在ご利用いただけません。測定器の貸し出し事業は、会としても大きな役割のある事業になっており、買い替えを含め現在対応中ですので、しばらくの間「Piranha 657」1台での運用とご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- ⑨ワクチン接種について、今年度に各地区3～4名のファシリテーターを育成し、来年度以降各地区等小単位で開催していく予定です。

地区だより

会津地区

「第114回 会津画像研究会」開催

令和7年11月21日（金）に竹田総合病院 総合医療センター1階 竹田ホールにて第114回 会津画像研究会が開催されました。

会津地区協議会委員長 井上基規氏の開会挨拶から始まり、竹田総合病院の市川真那人氏（代理発表：二瓶氏）から「タスクシフト・シェア 静脈穿刺に關しての当院の取組みと実践報告」の演題発表がありました。

竹田総合病院での静脈穿刺実践までの教

育体制や現在抱えている課題について詳しい報告があり、タスクシフト・シェアを実践している施設ならではの貴重な意見を共有いただきました。参加者にとって非常に有意義な時間となりました。（加藤）



総合病院土浦協同病院 放射線部
長谷川健先生

Ⅱ『TECで読み解くCT造影理論』

長野赤十字病院 放射線診断科部
室賀浩二先生

といった内容で、お二人の講師をお迎えし特別講演がありました。

今後のCT撮影に役立つお話を聴く事が出来ました。

先生方ご講演ありがとうございました。参加された皆様もありがとうございました。一般講演発表の方々、研究会世話人の方々お疲れ様でした。（清野）



浜通地区

「第40回 いわき地区画像研究会」開催

令和7年11月15日（土）参加人数42名が集まる中

1. 一般講演では

①『CT造影法の最前線』

常磐病院 折笠希美氏、
福島労災病院 小林大志氏

②『MRI造影法とガイドライン改訂』

かしま病院 西山修平氏、
いわき医療センター 皆川和喜氏

③『造影剤の安全対策』

呉羽総合病院 江原悠加氏、
磐城中央病院 廣木一弘氏

といった内容で3テーマ6名の発表がありました。

2. 各施設新人紹介では今年もスライドを使った楽しい自己紹介がありました。

3. 特別講演では

I『明日から使える！低管電圧とDual Energy CTの勘どころ』



お知らせ

令和7年度「相双地区画像勉強会」開催のご案内

日 時 : 2026年2月6日(金) 18:30~21:00(開場 18:00~)
会 場 : 相馬市総合福祉センター はまなす館2F 第2会議室
参加費 : 会員無料 非会員1,000円
締 切 : 2026年1月26日(月)までに、参加確認のはがきをご投函ください

教育講演

テーマ「FPD(フラットパネルディテクタ)時代の線量と画質の最適化」

東北大学病院 診療技術部 診療技術部長
特任教授 診療放射線技師 齋 政博 先生

*本研修会は、福島県放射線技師会の生涯教育ポイントの対象研究会となっております。
福島県放射線技師会新会員証(表面がブルー)をご持参ください。

問合せ先 : 浜通り地区協議会 事務局 田代 和広(公立相馬総合病院 放射線科)
電 話 : 0244-36-5101(代表)

編集後記

皆様あけましておめでとうございます。今年の春には診療報酬改定が控えており、医療DXの推進や処遇の改善など、私たちの働き方にも大きな変化の波が押し寄せようとしています。1月は「一年の計」を立てる時です。本誌が、皆様のキャリアアップとホッと一息つける情報の懸け橋になれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願いします。

(佐川)